

平成31年3月期 第2四半期

# 決算説明会

平成30年11月30日

<b>1</b>	<b>会社概要</b>	<b>P 3</b>
2	H31/3期 第2Q 決算	P 9
3	直近の戦略テーマ	P 14
4	平成31年3月期 業績見通し	P 24

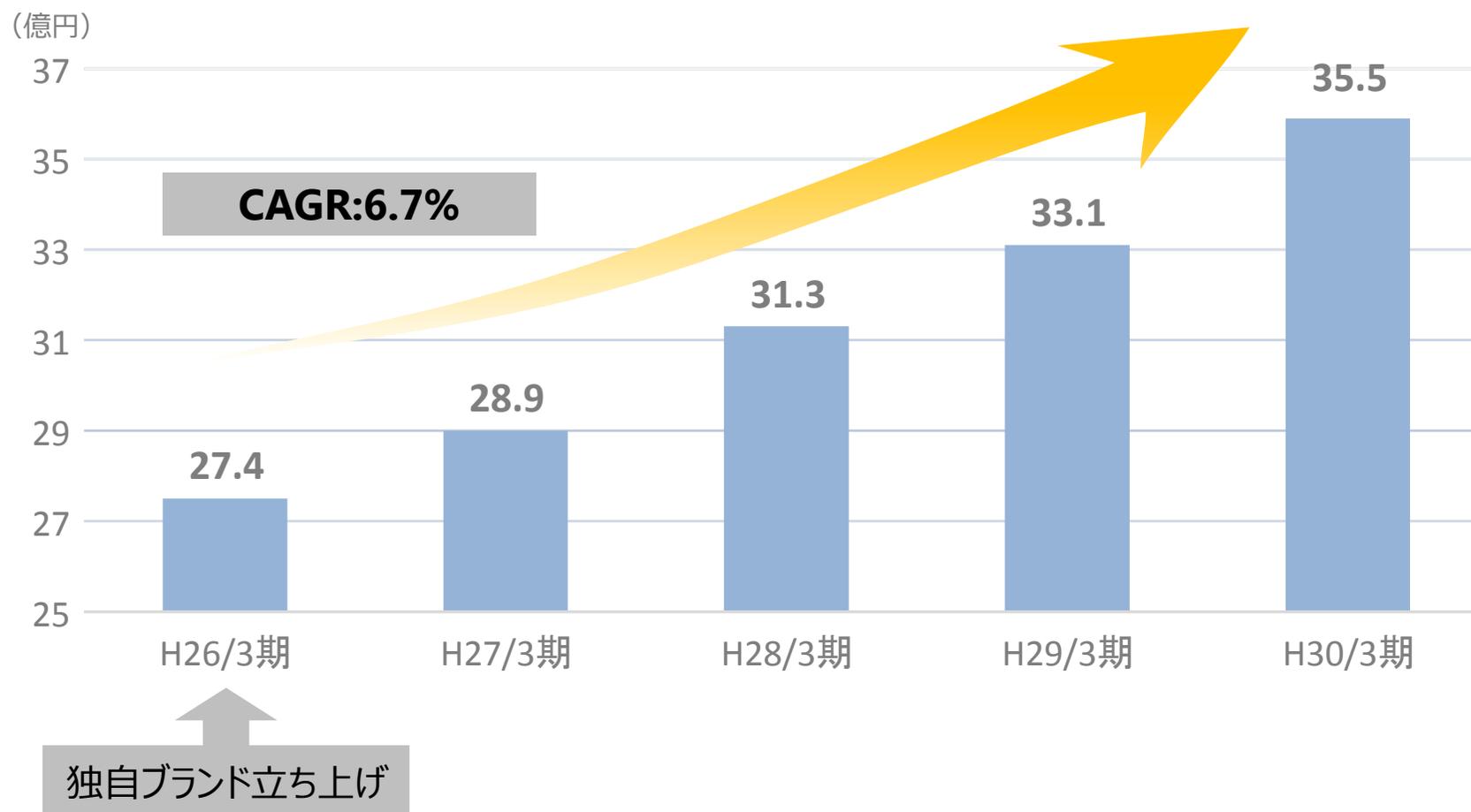
## 実店舗を中心としたリユース事業を展開

社名	株式会社ワットマン (WATTMANN.CO.,LTD.)
事業内容	リユース事業 (服飾雑貨・家電・本・ゲームソフトなどの仕入販売)
代表者	代表取締役社長 川畑泰史
会社設立	昭和53年9月
資本金	5億円
従業員数	428名 (平成30年9月末)
本社所在地	〒241-0021 神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰本町1-27-13
事業拠点	神奈川県内44店舗 (平成30年9月末)
株式の状況	発行可能株式総数 2,400,000株※ 発行済株式の総数 1,136,854株※ 株主数 783名 (平成30年9月末) ※ 平成30年10月1日株式併合後の総数

個人のお客様から仕入れ、お店で商品化し、個人のお客様へ販売する“C to B to C”のモデル



## 独自ブランド立ち上げ以降、右肩上がり成長



# 当社の特長 ①取扱商材の広さ

「トコトン買取」を掲げ、幅広い商材を買取。「海外リユース」が今後の成長の肝



## 低価格ファッションを下支えするオペレーション力



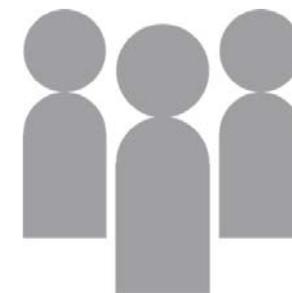
**180**<sub>/50</sub>

服の最低販売単価/円  
(拠点によっては50円から)



**1,600,000**

1ヶ月間の買取+販売点数/点  
(1拠点あたり 84,000点/月)



**210,000**

1ヶ月間の買取+販売客数/名  
(1拠点あたり 11,000名/月)

1	会社概要	P 3
2	H31/3期 第2Q 決算	P 9
3	直近の戦略テーマ	P 14
4	平成31年3月期 業績見通し	P 24

# H31/3期 第2Q 決算サマリ

9

## 前年同期と比べ、大幅な営業利益増に成功

単位：百万円

科目	H30/3期 第2Q	H31/3期 第2Q	前年同期比
売上高	1,750	1,702	97.3%
売上総利益	1,140	1,121	98.3%
販売費及び一般管理費	1,076	1,033	96.0%
営業利益	63	88	137.9%
経常利益	66	90	135.8%
四半期純利益	42	58	137.5%

# 貸借対照表 概況

10

## 利益剰余金36百万円増加、自己資本比率70.8%

単位：百万円

項目	H30/3期末	H31/3期 第2Q末	増減額	要因
流動資産	1,854	1,815	△39	• 主に現金及び預金32百万円減少、商品9百万円減少
固定資産	1,337	1,299	△38	• 主に有形固定資産26百万円減少、敷金保証金回収により9百万円減少
資産合計	3,192	3,114	△77	—
流動負債	431	376	△55	• 主に未払消費税等24百万円減少、未払費用12百万円減少、買掛金4百万円減少
固定負債	591	532	△59	• 主に長期借入金60百万円の減少
負債合計	1,023	908	△114	—
純資産合計	2,169	2,206	37	• 主に利益剰余金36百万円増加
自己資本比率	68.0%	70.8%		—

## 売上総利益率改善策及び販管費適正化効果により増益

単位：百万円

科目	H30/3期 第2Q		H31/3期 第2Q		前年同期比	要因
	金額	売上比	金額	売上比		
売上高	1,750	100.0%	1,702	100.0%	97.3%	• 低売上総利益率の一部法人仕入の取捨選択により、47百万円の減収
売上総利益	1,140	65.2%	1,121	65.9%	98.3%	• 売上総利益率改善策が奏功し、0.7ポイント増加
販売費及び一般管理費	1,076	61.5%	1,033	60.7%	96.0%	• 販管費適正化策が奏功し、0.8ポイント減少
営業利益	63	3.6%	88	5.2%	137.9%	—
経常利益	66	3.8%	90	5.3%	135.8%	—
四半期純利益	42	2.4%	58	3.4%	137.5%	• 経常利益が23百万円増益、税金費用7百万円増加

## 営業キャッシュ・フローは、58百万円の収入

単位：百万円

項目	H31/3期 第2Q	要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	58	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 主な増加要因：税引前当期純利益90百万円、減価償却費41百万円</li> <li>• 主な減少要因：未払費用12百万円減少、未払消費税等24百万円減少、法人税等の支払34百万円</li> </ul>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 有形・無形固定資産の取得による支出13百万円</li> <li>• 敷金及び保証金の回収による収入8百万円</li> </ul>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 長期借入金の返済による支出64百万円</li> <li>• 配当金の支払21百万円</li> </ul>
現金及び現金同等物の減少額	△32	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,102	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,069	—

<b>1</b>	<b>会社概要</b>	<b>P 3</b>
<b>2</b>	<b>H31/3期 第2Q 決算</b>	<b>P 9</b>
<b>3</b>	<b>直近の戦略テーマ</b>	<b>P 14</b>
<b>4</b>	<b>平成31年3月期 業績見通し</b>	<b>P 24</b>

今後の継続的な成長に向け、体制を整えることが直近の大きなテーマ

今よりももっと成長するために

**攻めを強くする**

- A** 商品と売場の強化
- B** 買取強化
- C** ネット事業の拡大

来るべき市場の低成長に備え

**守りを強くする**

- D** 店舗の生産性向上
- E** 人材マネジメントの確立

## 売上総利益率の改善及び商品力の強化に向け、法人仕入商品を取捨選択

継続	高額品の強化
継続	売場リニューアルの推進
新規	法人仕入商品の見直し

### 法人仕入高の比較

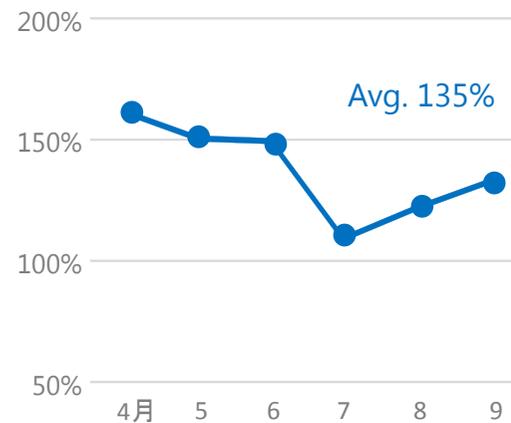
科目	H30/3期 第2Q	H31/3期 第2Q	増減額
法人仕入高	118	72	△ 45
売上総利益率	65.2%	65.9%	—

- 売上総利益率の改善に向け、法人仕入の取捨選択を推進
- 特に、低売上総利益率、かつリユース商品との親和性の低い、一部新品商品の法人仕入を停止
- 結果、売上総利益率は、前年同四半期に比べ、0.7ポイント改善

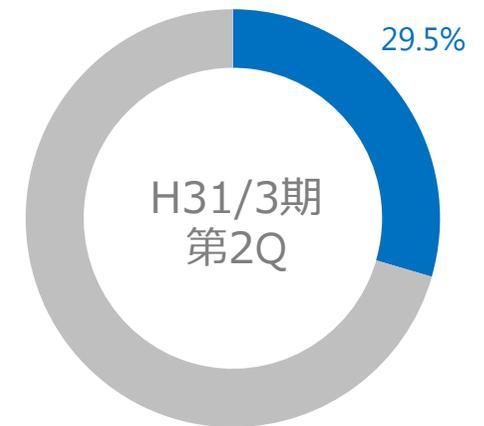
前年に比べ出張宅配買取は順調に成長してるものの、成長課題は多い

継続	店頭買取の強化
継続	出張宅配買取の強化

### 出張宅配買取件数の前年比



### 成約率 (成約件数/依頼件数)

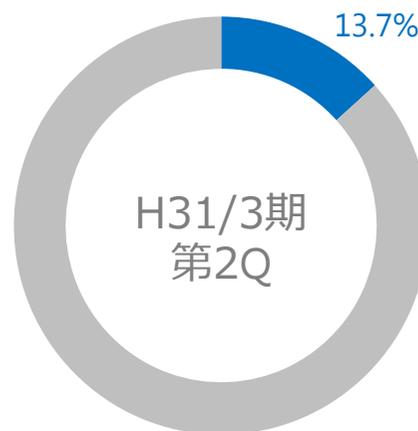


- 出張宅配買取は、前年同期比135%で伸長
- 特に、宅配買取件数の伸びが顕著
- 一方、買取依頼に対し、成約件数は29.5%。  
目標値:50%に向け、課題が多い状況

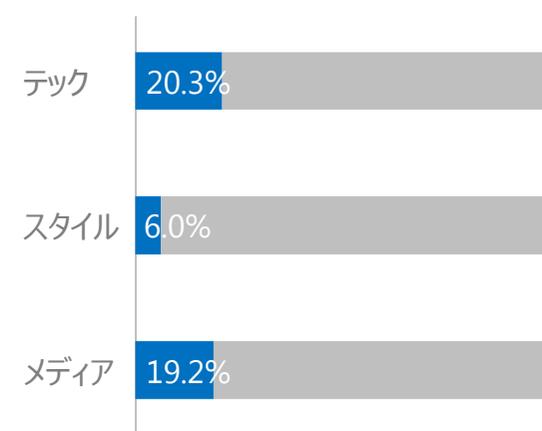
EC売上は順調に推移し、全体に占める売上構成比は13.7%に成長

継続	既存事業のEC化推進
継続	新ブランド立ち上げ

【全体】EC売上構成比



【業態別】EC売上構成比



- 特に、テック（電化製品等）およびパッケージメディア（本・CD/DVD・ゲーム全般）において、比較的高いEC率

既存のリユース事業で得られたノウハウを活かし、特定商材を扱う新ブランドを立ち上げ

継続	既存事業のEC化推進
継続	新ブランド立ち上げ (1/2)



サイトリリース H28/7  
リアル店舗オープン H30/4



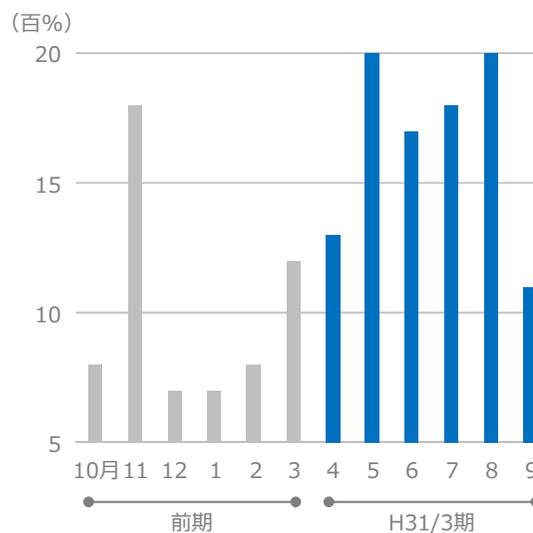
サイトリリース H30/4  
リアル店舗オープン H30/4

- ネットで買取、ネットで販売
- 高価格帯の特定商材 (AudioとRoadbike)
- ネットをフォローする存在として、H30/4にリアル店舗を出店

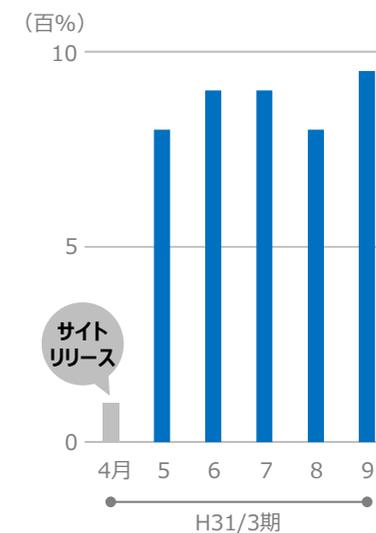
## 特定商材を扱う新ブランドを立ち上げ

継続	既存事業のEC化推進
継続	新ブランド立ち上げ (2/2)

Audio買取件数の伸び率



Roadbike買取件数の伸び率

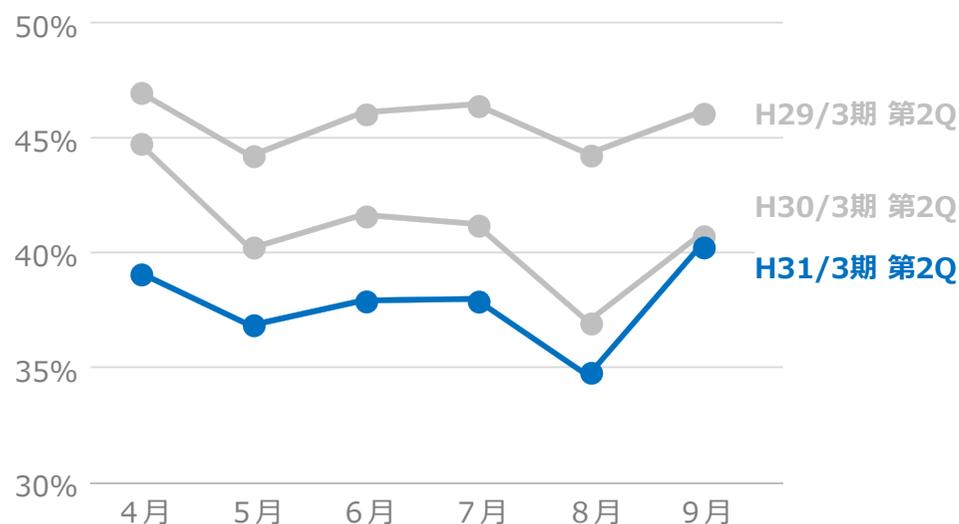


- サイトリリース月の買取件数を1としたときの伸び率を図示
- 直近では、Roadbike業態の買取件数が好調に推移

## タスクへのアサイン方法を変えることにより、生産性が劇的に改善

継続	販売費の適正化
継続	管理費の適正化
継続	人件費の適正化

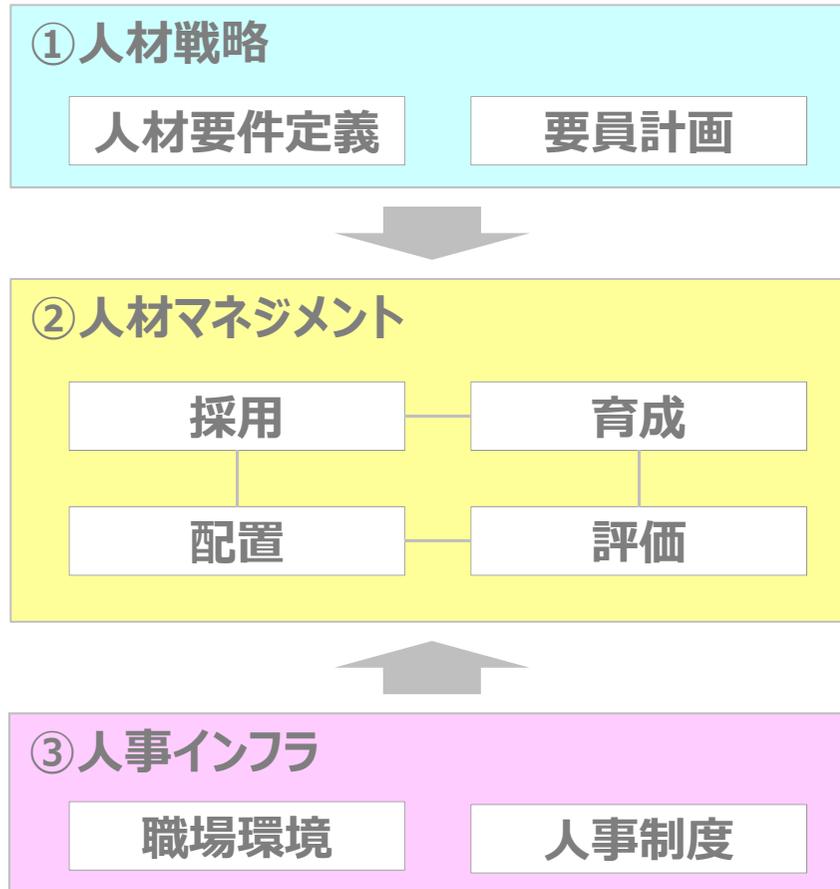
### 労働分配率の推移



- 前々年第2Q : avg.45.6%から、今期第2Q : avg.37.5%へと労働分配率が8ポイント改善

「成長」をキーワードに人材要件定義から採用/育成/評価までを一気通貫で整備

## 人材マネジメントフレームワーク



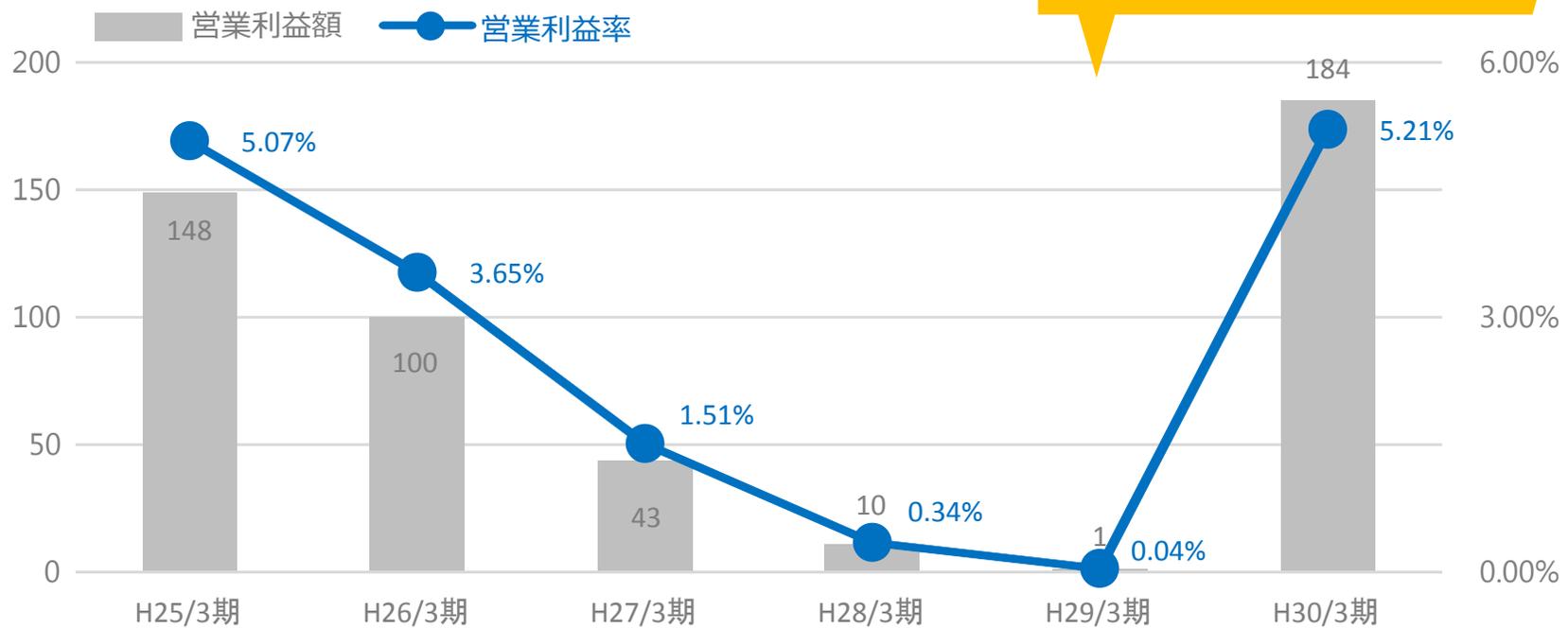
■ チャレンジポジションの設置

■ 育成する仕組みとしての評価

■ マーケットバリューを高める教育

5つの戦略テーマが奏功し、V字回復。成長に向けた体制整備が進行中

## 営業利益の推移



<b>1</b>	<b>会社概要</b>	<b>P 3</b>
<b>2</b>	<b>H31/3期 第2Q 決算</b>	<b>P 9</b>
<b>3</b>	<b>直近の戦略テーマ</b>	<b>P 14</b>
<b>4</b>	<b>平成31年3月期 業績見通し</b>	<b>P 24</b>

下期に成長のための投資を予定しているため、増収減益となる見通し

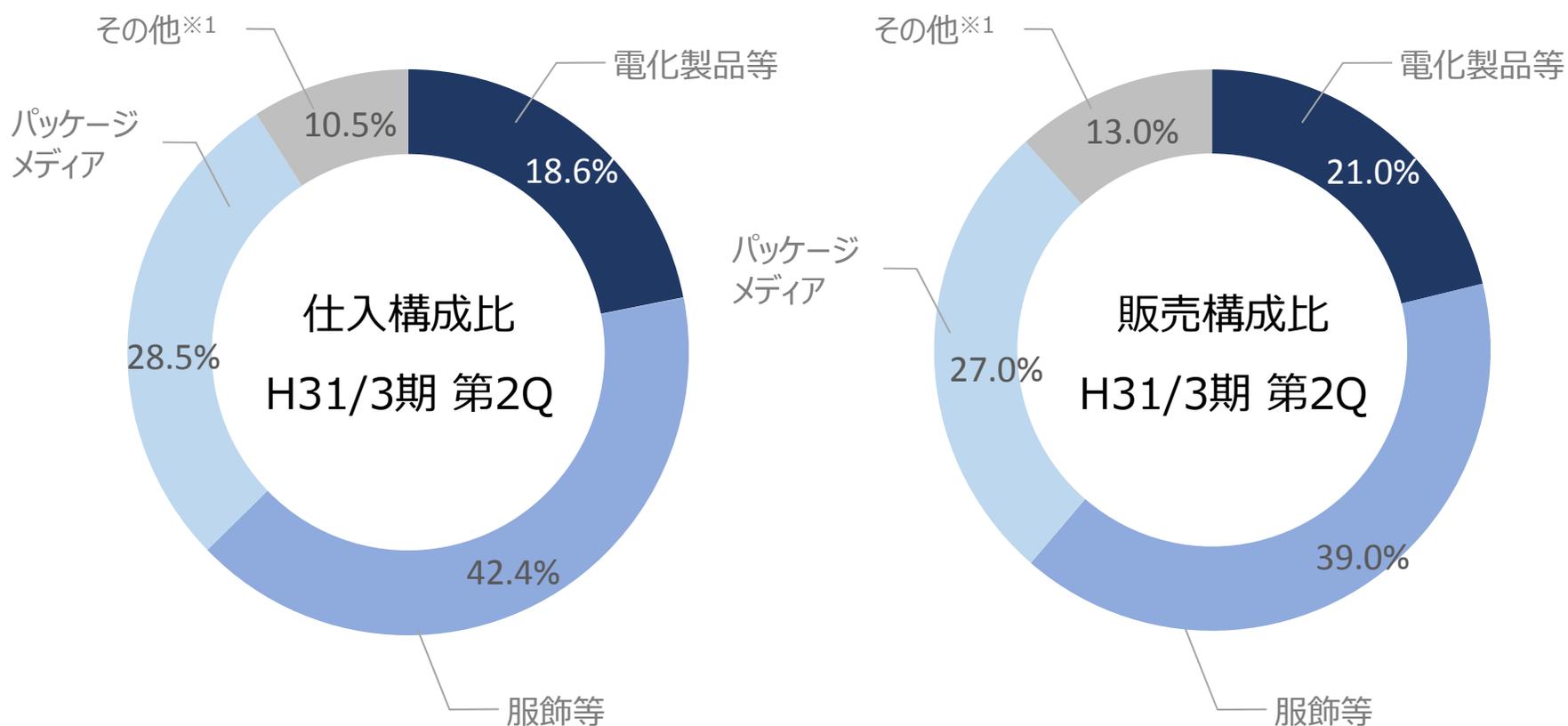
単位：百万円

科目	H30/3期	H31/3期	前年同期比
売上高	3,550	3,694	104.1%
売上総利益	2,320	2,396	103.3%
販売費及び一般管理費	2,135	2,284	107.0%
営業利益	184	110	59.5%
経常利益	189	116	61.2%
当期純利益	170	81	47.6%

# APPENDIX

昭和53年9月	株式会社電化センターシミズを設立
昭和55年12月	横須賀市野比に開店。神奈川県下における家電チェーン店化を開始
平成2年4月	社名を株式会社ワットマンに変更
平成9年11月	静岡県第一号店としてハーモス袋井店を開店
平成12年10月	株式会社清水合業社(昭和35年設立)を吸収合併
平成16年5月	中期経営改革計画を発表し、家電事業からリユース事業へ業態転換を開始
平成16年12月	JASDAQ証券取引所へ上場
平成25年6月	ハードオフ・オフハウスのFC契約を合意解消、独自業態として「スーパーリサイクルショップワットマン」に店名変更
平成30年9月	店舗数44店舗

仕入・販売とも、スタイル業態が全体の4割程度を占めています



※1：ホビー・楽器・家具・スポーツ等

## リユース市場規模は右肩上がりで成長中。成長率は以前よりも鈍化

<b>リユース市場規模</b>  <b>10,575 億円</b>  一般消費者の最終需要ベースでのリユース市場規模（H27、自動車・バイク・原付バイク除く）	<b>市場成長率</b>  <b>3.0 %</b>  H24からH27の市場規模の増減率	<b>リユース市場の成長余地</b> <table border="1"><tr><td><b>購入経験がない</b>  <b>67.9 %</b>  過去1年間における中古品の購入無経験者の割合</td><td><b>売却経験がない</b>  <b>60.5 %</b>  過去1年間における不用品の売却・引き渡し無経験者の割合</td></tr></table>	<b>購入経験がない</b>  <b>67.9 %</b>  過去1年間における中古品の購入無経験者の割合	<b>売却経験がない</b>  <b>60.5 %</b>  過去1年間における不用品の売却・引き渡し無経験者の割合
<b>購入経験がない</b>  <b>67.9 %</b>  過去1年間における中古品の購入無経験者の割合	<b>売却経験がない</b>  <b>60.5 %</b>  過去1年間における不用品の売却・引き渡し無経験者の割合			

<b>リユースショップでの売却率</b>  <b>48.1 %</b>  H27の過去1年間で「不用品の売却経験がある人」のうち、「リユースショップで売却した人」の割合	<b>リユース率</b> <table border="1"><tr><td><b>衣類・服飾品</b>  <b>30.8 %</b>  不用になった衣類のうち、リユース品として引き渡された物の割合</td><td><b>大型家電</b>  <b>14.3 %</b>  不用になったエアコン・TV・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機のうちリユース品として引き渡された物の割合</td><td><b>家具</b>  <b>16.2 %</b>  不用になった家具のうち、リユース品として引き渡された物の割合</td></tr></table>	<b>衣類・服飾品</b>  <b>30.8 %</b>  不用になった衣類のうち、リユース品として引き渡された物の割合	<b>大型家電</b>  <b>14.3 %</b>  不用になったエアコン・TV・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機のうちリユース品として引き渡された物の割合	<b>家具</b>  <b>16.2 %</b>  不用になった家具のうち、リユース品として引き渡された物の割合
<b>衣類・服飾品</b>  <b>30.8 %</b>  不用になった衣類のうち、リユース品として引き渡された物の割合	<b>大型家電</b>  <b>14.3 %</b>  不用になったエアコン・TV・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機のうちリユース品として引き渡された物の割合	<b>家具</b>  <b>16.2 %</b>  不用になった家具のうち、リユース品として引き渡された物の割合		

出典：環境省（平成29年3月）「平成28年度使用済製品等のリユース促進事業報告書」、環境省（平成28年5月）「リユース読本」から抜粋



# 決算説明会資料 完

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問い合わせ

株式会社ワットマン 経理総務グループ  
神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰本町 1-27-13  
TEL代表 : 045 - 959 - 1100